ワゴン車内に、視力測定などに必要な機器をすべて収納

「めざすのは『何でも屋』。お客さまの『困った』を助ける会社に」

平成25年に移動型メガネ対面販売を個人事業としてスタート、翌年1月に株式会社に改組し、事業の拡大を図ってきた前嶋崇社長。今年3月からは、新たな事業を2部門立ち上げました。

同社の経営理念「人生慌てず休まず」は、一歩一歩着実に考えながら歩んで行けば、必ず目標を通過できるという意味がこめられています。前嶋社長は「目標は、通過して振り返って見るもの。常に、次の目標へ着実に歩み続けることが、人としても事業としても重要だと考えています」と話します。

ユニークな言葉ですが、出典はどこから?

「実はこれは、私が小学生の時に、校長先生の朝礼で聞いた言葉なんですよ」と笑顔になる前嶋社長。「ずっと心に残っていて、社会人になってからは自分の指針としてきました」

メガネの出張販売でスタートした同社。社長以下スタッフたちの努力の甲斐あって、事業は順調に推移してきました。

ところが昨年、大きな不幸に襲われました。事業のパートナーとしても力になってくれていた、最愛の息子さんを病気で亡くされたのです。まだ20代の若さでした。

「当時は何もかもやる気を失ってしまいました」と当時を振り返る前嶋社長。それでも経営者として自らもお客さまを回るうちに、自分と同じように多くの方が、心の中に悲しみや辛さ、怒りなどを抱え込んでいることに気づきました。

「特にお年寄りは、良いことであれ悪いことであれ、誰かと話したいものです。でも、足腰が弱って来るとなかなか心を許せる友人と会うこともできず、心にたくさん溜め込んでおられるようでした」

自分自身も辛い体験をされていたことから、前嶋社長は、お客さまのお話をていねいに聴いてさしあげていました。そして思いついたのが、新事業「愚痴（想い出）つぐみ」でした。

本社社屋

「家族や親戚にも話せないようなことも、逆に第三者だから安心して話せることもあります。何でも遠慮なくどんどん話していただき、心に溜め込んだものを吐き出していただいて、元気になっていただきたい。それがこの事業です。話だけでなく、カラオケに付き合ったり、買い物を手伝ったりもしています」

同時期にスタートしたのが「立ち上げ屋つぐみ」です。

「立ち上げ屋と言っても、会社設立のお手伝いではありません。やる気をなくしている社員を『立ち上がらせる』お手伝いです。若い方々に、社長や上司、さらには育ててくれた両親が、どんな気持ちで接してきたか、どれだけ本気で育ててきたのかを伝え、やる気を起こさせます」

そこには、息子さんを亡くされた悲しみから、若い人たちにもっとしっかりして欲しいという想いもこめられています。

今年スタートしたばかりの2つの事業ですが、評判は上々で、今後は会社全体の柱の事業となりそうとのこと。それを踏まえて、社名も「株式会社つぐみ」へ変更することを考えています。

「めざすのは、何でも屋なんです。お客さまの困っていることに、何でも対応していける会社になりたいと思っています」

そう話す前嶋社長の、おだやかな笑顔と、未来を見つめる瞳の輝きが印象的でした。

経営理念

人生慌てず休まず

社是

1、変化への対応
2、人間力（言葉力）
3、営業力

Information

株式会社メガネのつぐみ
代表取締役　前嶋 崇
設立／平成26年1月
所在地／宇都宮市下岡本町4536-3
☎ 028-680-5721
FAX 028-680-5725
http://tsugumi-g.com

株式会社メガネのつぐみ
代表取締役 前嶋 崇 氏